



まきび連携だより

H28 年度
第4号

発行：まきび学校支援地域本部 総務班

第2回まきび連携委員会

11月15日(火)に、第2回まきび連携委員会を本校で開催しました。

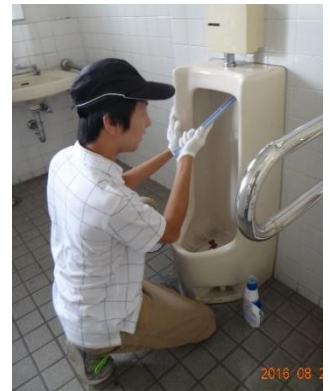
守屋会長、佐藤校長のあいさつのあと、就労班、福祉班等の班ごとに、今年度のこれまでの活動を振り返り、今後の活動計画を立てました。第4号では、これまで紹介できていない班の活動の一部をご紹介します。

環境班

P T A奉仕作業(8月26日)の際に、高等部3年生の生徒と保護者、教員で、通学時に利用する吉備真備駅の待合室とトイレの清掃をしました。地域の方にも大変喜んでもらえました。

11月21日には、学校で育てた花の苗を、真備陵南高校と一緒に地域に贈りました。この取り組みが認められて、高等部は玉島警察署から善行少年表彰をいただきました。

これからの活動としては、学習環境を整えるため、ゲストティーチャーを迎えて、高等部では『生け花教室』、小中学部では『花育(フラワーアレンジメント)』に取り組む予定です。花いっぱいの学校にしていきたいと思います。



駅のトイレ清掃

地域班

今年度も、ボランティア登録のお願いをしたり、来校いただくボランティアと担任との連絡・調整をしたりしました。今年度、ボランティア登録をいただいている方は109名です。

これからの活動としては、ボランティアで読み聞かせをしてくださる方が活動しやすいように、「読み聞かせの日」を定期的に設けたり、箭田地区の農家の方と、中学部・高等部の農耕班・農園芸班との交流を計画したり、地域(箭田地区)の清掃を一緒に行ったりしていきたいと考えています。



花の苗の贈呈

安全班

毎日、登下校で100名近くの高等部生徒が利用している吉備真備駅。

近隣の高校も一緒に利用するため大変混雑します。安全を考慮して、毎週月曜日に安全班の呼びかけで「箭田まちづくり推進協議会・すくらむ班」の方が見守りをしてくださっています。安全に登下校できるように担任も出向いています。

これからの活動としては、水害を想定して、校舎に小田川の堤防の高さと同じ位置に印を付け、水害への意識づけを行い、訓練にもいかしていきたいと考えています。



文化祭ボランティア打合せ

おわりに

開校初年度からスタートした「まきび連携委員会」も3年目を迎え、充実してきました。今後、さらに地域との結びつきを大切にしながら児童生徒の自立と社会参加を目指していきたいと思っています。